

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	南砺市におけるうおいと安らぎのあるまちづくりの推進
	交付対象	南砺市
	計画期間	平成28～30年度（3年間）
	計画の目標	・南砺市都市公園閑乗寺公園は、井波地域の市街地から車で約5分程度と近く、かつ、砺波平野の散居村風景が手軽に楽しむことができる都市計画公園であることから、『四季の散居村が眺望できるビュースポット』、『親子が年間を通じて楽しめるレクリエーションエリア』としての機能が充実した都市公園として位置づけられており、世界的なイベントである「南砺市井波国際木彫刻キャンプ」の平成31年開催を目指している。しかしながら、公園施設の老朽化が進行していることから、公園施設の長寿命化と計画的な改築・更新を行うことにより改築・更新費用の縮減を図るとともにうおいと安らぎのあるまちづくりを推進し、世界的なイベントである「南砺市井波国際木彫刻キャンプ」の円滑な平成31年度開催を目指すものである。
	定量的指標（目標値）	・平成25年3月にスキー場としての営業が中止となった以降は減少し続けている公園利用者について、長寿命化計画に基づき改築・更新を行うことで平成30年度には9,000人と予想されている公園利用者数を13,000人に増加する。 ・健全度調査により判明した健全でない公園施設について、長寿命化計画に基づき改築・更新を行うことで、健全な公園施設の割合を30%（H27当初）から100%（H30末）に増加する。
	対象事業	都市公園事業

評 価	項 目	評 価 細 目	評価	説 明 欄
	目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	南砺市総合計画に位置付けられた内容と整合がとれている
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	南砺市総合計画の目標と整合がとれている
	計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している
		2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	公開されている統計データや調査結果を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている
		3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
		4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや毎年実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている
		5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている
	計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている
		2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元の合意形成など実現に向けた機運が醸成されている
	評 価 結 果	評価Ⅰ 事業を実施	【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの	
		評価Ⅱ 計画の見直し	「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの	